

後期高齢者におけるリバーロキサバン新規導入後の出血発現状況の実態調査

1. 研究の対象

2013年1月から2015年1月に当院に入院歴のある後期高齢患者のうち、リバーロキサバンを新規導入された方を対象としています。

2. 研究目的・方法

2013年1月から2015年1月にリバーロキサバンを新規導入した後期高齢の入院患者を対象とし、ORBITスコアを用いて出血リスクを評価することでリバーロキサバンの適正使用の1つにつながることを目的としています。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

電子カルテの情報(年齢、性別、既往歴、血清CRE(腎機能进行评估する指標)、eGFR、体重、Hgb、出血の有無、併用薬剤)

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：京都中部総合医療センター 薬剤部 薬剤師 坂本朱美

-----以上